

いまやがんは早期発見、早期治療で治ります。

がん検診は安心の第二步

がんは身近な病気です！

がんは死亡原因の第1位となっています。一生のうち、男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんにかかり、男性の4人に1人、女性の6人に1人ががんで亡くなっており、今やがんは「国民病」であるといっても過言ではなく、身近な病気としてとらえる必要があります。

その一方で、がん医療の進歩はめざましく、早期に発見し適切な治療を受けることにより、治るがんが増えています。

低いがん検診受診率！

がん検診は、胃、肺、大腸、乳房、子宮について、国の指針等に基づき各市町村で実施している住民検診や、企業等で行っている職域検診があります。

検診年齢は、胃、肺、大腸、乳房が40歳以上、子宮は20歳以上の方からで、検診回数は、胃、肺、大腸が毎年、乳房、子宮は2年に一度となっています。

国のがん対策基本法に基づき、平成20年3月に千葉県がん対策推進計画を策定し、がん検診受診率50%以上とする目標を掲げましたが、本県の受診率は、15〜30%（表参照）と伸び悩んでいます。

若年世代に増えています！

近年、食生活等の生活習慣の欧米化などにより、大腸がんや乳がん、子宮がんの罹患者が増えています。

特に乳がんは、若い年代層の女性の死亡原因のトップとなっており、20人に1人がかかるといわれています。千葉県では、乳がん検診は、30歳以上から毎年

実施するよう勧めています。また、唯一、自分で見つけることの出来るがんですから、自己触診でチェックすることも大切です。

がん検診を受けましょう！

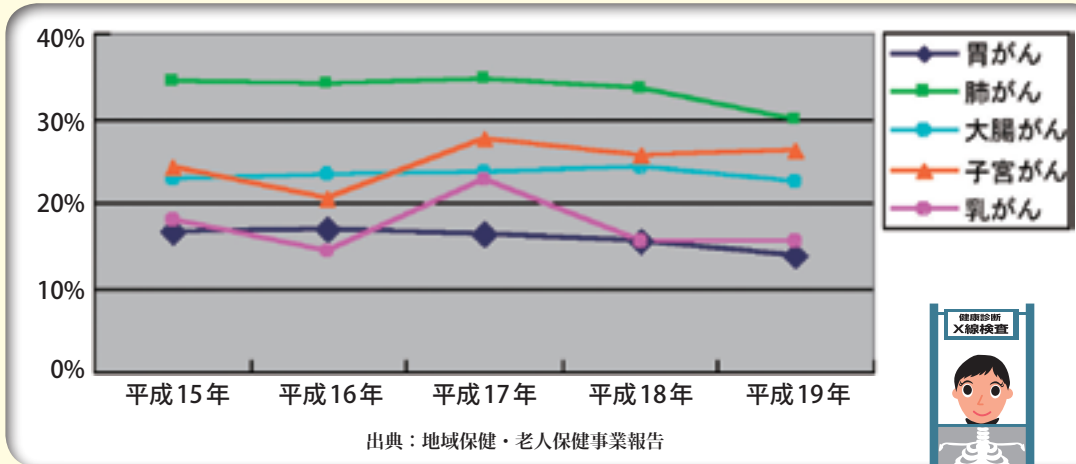
県が平成19年度に行った『生活習慣に関するアンケート調査』では、受診しない理由の1番に「自覚症状がない」、次に「お金がかかる」「検診日時・場所を知らない」「健康に自信がある」等となっています。

がんはある程度進行するまで自覚症状が出ない場合が多いため、症状が何もなくても定期的に検診を受診することが大切です。

ご近所どうし声を掛け合い誘い合って、年に1回はがん検診を受けましょう。



がん検診受診率の推移



がん検診はどういう検査をするの？

- ☆胃がん 胃部X線検査
- ☆肺がん 胸部X線検査
- ☆大腸がん 便潜血検査
- ☆乳がん 視触診、マンモグラフィ検査（一部超音波検査）
- ☆子宮がん 視診、細胞診

以上の検査の前に問診を行います。

がん検診は市町村で！

各市町村で住民検診を行っています。集団検診のほか個別に医療機関で受けられるところもあります。なお、今年度は乳がん・子宮がんは対象年齢の方に無料クーポン券が支給される制度があります。検診日時、場所、費用等、詳しくはお住まいの市町村のホームページや広報誌をご覧ください。がん検診事業担当課にお問い合わせください。



精密検査について

がん検診の結果、要精検と判定された場合は、医療機関で精密検査（保険適用）を受けることをお勧めします。

笑顔で検診。検診で安心。検診はあなたとあなたの愛する人を守ります。

◆ お問い合わせ ◆ 県健康づくり支援課 TEL043-223-2686